

伝える力・聴く力・考える力 コミュニケーション能力を高めよう

これからの時代、『AI（人工知能）によって仕事がなくなる』と言われています。

そんな中、人間が優位になること（人間だからこそ出来る＝強み）は
→コミュニケーション能力を高めていくことが大切だと言われています。

コミュニケーション能力とは…「相手の気持ちを大切にしながら、自分の気持ちも伝えることが出来る対話能力」のことを言います。

つまりコミュニケーション能力が高まれば、自分だけでなく相手のことも大切に出来るようになる、ということなのです。

一般的に「コミュニケーション能力が高い人」といえば、話すのが上手な人をイメージしがちですが、「空気を読む力」「相手の気持ちを察する力」「相手が話したいことを引き出す力」も必要です。人は話を聴いてくれる人に好感を持ちます。

コミュニケーション能力が高いと「一緒にいると楽しい」と思われ、魅力的な人にうつります。また社会に出た時、誰とでもすぐに仲良くなれるので、多くの人と人脈を築き、さらに成長することが出来ます。

では、子どものうちからコミュニケーション能力を高めていくには何をすればいいのでしょうか？園では、あるての作品が完成した時に『鑑賞会』をおこなっています。

自分が作った作品の説明をしたり、相手の作品の良いところを伝え合ったりしています。そうやって「**伝える力**」「**聴く力**」を育てているのです。

加えて、コミュニケーション能力では「**考える力**」も大切です。

お集まりの時、子ども達は『他の子の意見を聴いて考える』時間を設けています。

その1つの例です。園庭では、夏野菜の収穫の時期になりました。

出来たトマトを見せながら「トマトを使った料理は何があるかな？」と質問します。

子ども達からは、「トマトパスタ」や「ピザ」など、様々なトマト料理の名前が出てきました。

今回のクッキングでは、餃子の皮を使った『餃子ピザ』を作ることになったので、必要な材料をみんな
で考え、話し合いました。

いろいろな材料が出てくる中で、一人の子が「チーズ」と言いました。それを聞いたAちゃん…

「私チーズ嫌い」と言い出しました。でも、すぐに周りの空気感を感じたのか「嫌いだから私は乗せなければいいよね」と相手の「チーズ」という思いに折り合いをつけたのです。

保育園という社会の中で、子ども達も「考える力」が育っているんですね。

私達大人は、何かと先回りをして子どもに答えを出してあげたくりますが…

ご家庭でも子どもとの会話の中で、いろいろな質問をして、答えを引き出して（聴いて）あげると良いのではないのでしょうか。

1回の質問で終わらせるのではなく、5回はやりとりすることを、お勧めします。

「そうなんだ」「どうしてそう思ったの？」と話を掘り下げたり、答えやすい聴き方をすることで、「会話するのが楽しい！」と体感します。

また話を聴く際には、子どもの目を見ながら、肯定的なあいづちを心がけるのも大切です。

子どももコミュニケーション能力が高まって、楽しい生活が出来ると幸せですよ。（橋本 美香）

